

令和6年度 第8回 経営協議会議事要録

日 時 令和7年3月27日（木）16時00分～18時00分

開催方法 如水会館2階オリオンルーム（オンラインとのハイブリッド）

出席者 【委員】中野学長

青木委員、朝霧委員、荒木委員、木下委員、内藤委員、平子委員、福原委員、森本委員、大月委員、加藤委員、蜂谷委員、下間委員、竹下委員、祝迫委員

【陪席者】野口理事、林理事、大槻理事、長谷部監事、原監事、稲葉副学長、屋敷副学長、西野副学長

I 前回議事要録の確認

1. 令和6年度第6回及び第7回経営協議会議事要録について

中野学長から、令和6年度第6回経営協議会議事要録及び令和6年度第7回経営協議会議事要録について、資料1に基づき説明があり、確認の後、確定した。

II 審議事項

1. 国立大学法人一橋大学職員給与規程等の一部改正について

蜂谷理事から、国立大学法人一橋大学職員給与規程等の一部改正について、資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 国立大学法人一橋大学職員勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の一部改正について

蜂谷理事から、国立大学法人一橋大学職員勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の一部改正について、資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 理事候補者について

中野学長から、理事候補者について、資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4. 株式会社の設立について

西野副学長から、株式会社の設立について、資料5に基づき説明があり、審議の結果、委員の意見を踏まえ継続審議することとなった。なお、以下のような意見交換が行われた。

○荒木委員から、一般社団法人である一橋大学知識共創機構（HICKS）ではできず、株式会社でなければできないことは何かという質問があった。

これに対して、西野副学長から、大学が主体的に出資・運営できる組織体とし、その活動成果を配当等の形で大学に還元できる仕組みを構築することで、より踏み込んだ取り組みが可能となる、との説明を行った。

○森本委員から、株式会社の社名には一橋大学の名前を冠するのか、その場合は今後の本学のレピューテーション形成にも影響を及ぼすことに留意する必要がある。という意見があった。

これに対して、西野副学長から、株式会社の名称については具体的には検討中であるが、株式会社という形態で事業を展開することにはブランド価値が醸成される一方で、責任が伴う点を踏まえて検討していきたいとの説明を行った。

○青木委員から、他大学が設置する株式会社のコンサルティング事業例と、訴訟に発展するような事例もあることが紹介され、本学はどのようなコンサルティング事業を想定しているのか。という意見があった。

これに対して、西野副学長から、当初に検討している事業例を提示しつつ、将来的には事業リスクを踏まえた上で、事業展開を模索していくとの説明を行った。

○朝霧委員から、HICKSとの関係性において、事業内容に競合が生じる可能性も考えられるがどのようにすみわけするのか。という意見があった。

これに対して、西野副学長から、HICKSの研修事業と株式会社の研修事業では想定している受講者層に違いがあるとの説明を行った。

○内藤委員から、事業には教育的・公益的な意義がある一方で、投資対効果（ROI）を重視する姿勢も見られ、事業の方向性としてやや不明確になっているため、利益追求を明確に打ち出すことも一つの方針として考えられる。また、定款や事業計画が整備されていない状態では出資を受けるのは難しいのではないかという意見があった。

これに対して、西野副学長から、正式な出資認可申請のプロセスの事前段階として諮っており、今後定款や事業計画を整えていくとの説明を行った。

○平子委員から、会社としての成長戦略や出口戦略をあらかじめビジネスモデルとして描いておく必要がある。チャレンジングな取り組みではあるが、大学発のスタートアップとしてこうした動きが生まれていること自体は喜ばしい。という意見があった。

5. 令和7年度一橋大学予算（案）等について

下間理事から、令和7年度一橋大学予算（案）等について、資料6に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6. 令和7年度資金運用方針（案）について

下間理事から、令和7年度資金運用方針（案）について、資料7に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7. ソーシャル・データサイエンス研究科（博士前期課程）の定員拡大について

加藤理事から、ソーシャル・データサイエンス研究科（博士前期課程）の定員拡大について、資料8に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

8. 国立キャンパスの整備・再開発について

下間理事から、国立キャンパスの整備・再開発について、資料9に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

III 報告事項

1. 次期学長選考日程について

下間理事から、次期学長選考日程について、資料10に基づき報告があった。

2. 令和7～9年度年度計画について

蜂谷理事から、令和7～9年度年度計画について、資料11に基づき報告があった。

3. 「一橋大学インキュベーション・ベース (HIB)」の開設について

西野副学長から、「一橋大学インキュベーション・ベース (HIB)」の開設について、資料12に基づき報告があった。

4. 令和6年度第3四半期 財務状況報告

下間理事から、令和6年度第3四半期 財務状況報告について、資料13に基づき報告があった。

5. 令和6(2024)年度科研費応募状況(最終値)・採択状況(最終値)並びに令和7(2025)年度応募状況(12月値)について

大月理事から、令和6(2024)年度科研費応募状況(最終値)・採択状況(最終値)並びに令和7(2025)年度応募状況(12月値)について、資料14に基づき報告があった。

IV その他

中野学長から資料15に基づき、中央教育審議会において「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～」の答申が取りまとめられた旨が紹介された。

○平子委員から、2040年に向けて「18歳人口の崖」と言われる少子化の進行が見込まれる中で、各大学がいかにして新たな価値を創出し、社会への貢献を果たしていくかが問われているとの意見があった。加えて、地方創生の観点から、人口減少が深刻な地域においては、大学間や地域産業との連携に積極的な大学に対して重点的に支援が行われるべきとの議論が展開されていることが紹介された。

中野学長から、令和7年3月末日を以って、任期満了により退任する委員の紹介があり、各委員から挨拶があった後、学長から謝辞が述べられた。

[配布資料]

- 1 令和6年度第6回経営協議会議事要録（案）
令和6年度第7回経営協議会議事要録（案）
- 2 国立大学法人一橋大学職員給与規程等の一部改正について（案）
- 3 国立大学法人一橋大学職員勤務時間、休日及び休暇等に関する規程等の一部改正について（案）
- 4 理事候補者について
- 5 株式会社の設立について
- 6 令和7年度一橋大学予算（案）の概要
令和7年度 国立大学法人一橋大学 予算編成方針（案）
令和7年度 国立大学法人一橋大学予算（案）
- 7 令和7年度資金運用方針（案）
- 8 ソーシャル・データサイエンス研究科（博士前期課程）の定員拡大について
- 9 国立キャンパスの整備・再開発について
- 10 次期学長選考日程
- 11 令和7～9年度年度計画について
- 12 「一橋大学インキュベーション・ベース（HIB）」の開設について
- 13 令和6年度第3四半期 財務状況報告の概要
- 14 令和6（2024）年度科研費応募状況（最終値）・採択状況（最終値）並びに令和7（2025）年度応募状況（12月値）について
- 15 我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）要旨等